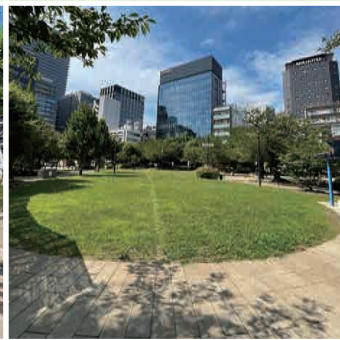




復興小公園の再生



関東大震災100年

幾多の災害を乗り越えてきた東京
備えよう、明日の防災



復興小公園

関東大震災(1923年9月1日)では、火災が鎮火した要因の一つに公園緑地や広場が焼け止まりとして機能したことがわかり、公園設置の重要性が高まりました。

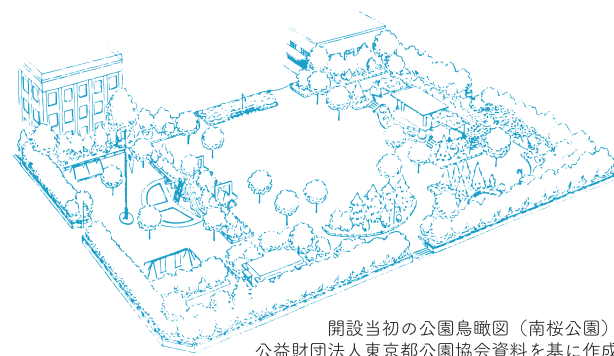
東京市はこれを踏まえ、震災の焼失区域において、震災復興公園として52か所の小公園を整備しました。

小公園は、小学校に隣接して整備され、近隣住民の憩いの場や地域コミュニティの中心、地域における防災拠点のほか、校庭の延長や教材園などとしての役割を担ってきました。

また、震災復興のシンボルとなるとともに、後の都市公園や児童公園のモデルとなりました。



元加賀小学校と元加賀公園 東京都復興記念館所蔵



開設当初の公園鳥瞰図(南桜公園) 公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成

- 東京都は、関東大震災100年を契機としたムーブメントの展開として、関係区による復興小公園の再生を後押しします。
- 当時の思想などを踏まえ、防災機能の拡充や地域コミュニティの交流・憩いの場等として公園を再生します。
- 復興小公園の再生を通じて、あらゆる世代に対する防災意識の啓発につなげるとともに、都市の魅力の更なる向上を図り、人に優しくゆとりある空間を創出します。

再生の4つの視点

防災力の向上

平時からの防災意識の啓発につなげ、地域の防災力を向上させる

後世への継承

復興小公園の由来・意義等を後世に伝え継承する銘板を設置する

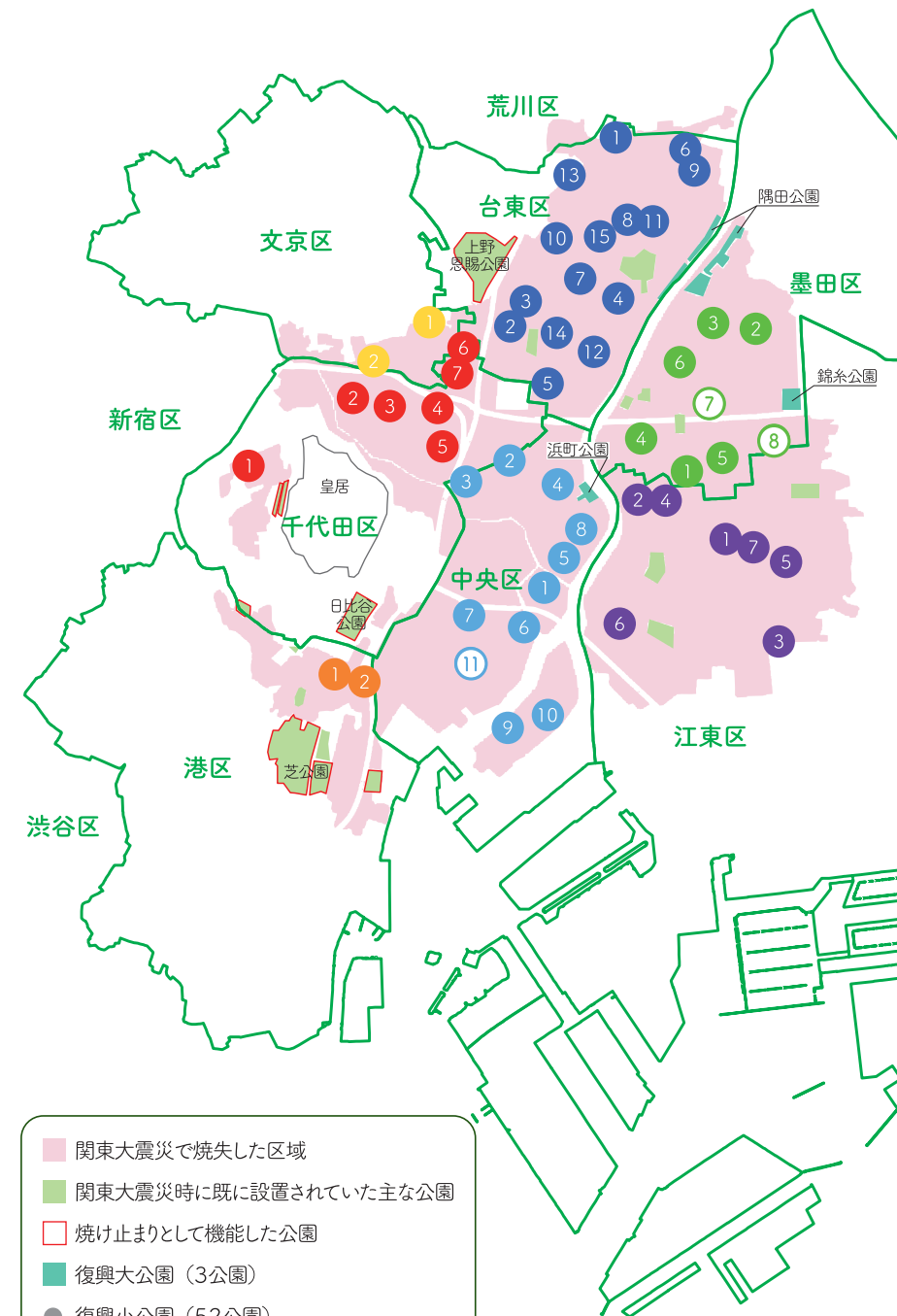
地域の憩いの場

身近な場所にある公園として誰もが集える憩いの場を創出する

遊び・学びの場

こどもが安心して楽しく遊び、学べる環境を充実させる

復興小公園位置図



- 関東大震災で焼失した区域
 - 関東大震災時に既に設置されていた主な公園
 - 焼け止まりとして機能した公園
 - 復興大公園(3公園)
 - 復興小公園(52公園)
- ※復興大公園は広域からの市民利用を考慮して国により設置されました。

千代田区	台東区
1 東郷元帥記念公園 (旧 上六公園)	1 東盛公園
2 西神田公園 (旧 西小川公園)	2 御徒町公園
3 錦華公園	3 西町公園
4 淡路公園	4 田原公園
5 神田児童公園 (旧 神田公園)	5 柳北公園
6 練成公園	6 玉姫公園
7 芳林公園	7 松葉公園
中央区	8 千束公園
1 越前堀児童公園 (旧 越前堀公園)	9 石浜公園
2 十思公園	10 山伏公園
3 常盤公園	11 富士公園
4 久松児童公園 (旧 久松公園)	12 精華公園
5 箱崎公園	13 金杉公園 (旧 入谷公園)
6 鉄砲洲児童公園 (旧 鐵砲洲公園)	14 小島公園
7 京橋公園	15 金竜公園
8 蛸殻町公園	墨田区
9 月島第二児童公園 (旧 月島第二公園)	1 中和公園
10 月島第一児童公園 (旧 月島第一公園)	2 業平公園
11 築地公園 (1977年廃止)	3 横川公園
	4 両国公園 (旧 江東公園)
港区	5 菊川公園
1 南桜公園	6 若宮公園
2 桜田公園	7 永倉公園 (1971年廃止)
文京区	8 茅場公園 (1948年廃止)
1 新花公園	江東区
2 元町公園	1 元加賀公園
	2 八名川公園
	3 東陽公園
	4 森下公園
	5 川南公園
	6 臨海公園
	7 扇橋公園

- ・3ページ以降に現在における各公園の情報を掲載しています。
- ・各公園の小学校との位置関係や施設の設置状況については、以下のアイコンを参照してください。



- ⅠⅡⅢ：小学校が中学校に変更されたものを含む
- Ⅳ：小学校が廃校又は用途変更されたものや、公園自体の位置が変更となったものなど

- 10 遊具：一般遊具や複合遊具等
- 7 健康遊具：軽い運動等を目的とした遊具
- 休 休憩舎：四阿や日陰棚等
- ス スポーツ場：防球ネット等で区画されたスポーツ広場
- じ じゃぶじゃぶ池：水遊びができることも用プール
- ミ ミスト：暑熱対策用のミスト設備
- ト 防災トイレ：非常時に使用できるトイレ
- か かまどベンチ等：非常時に炊き出しに使用できるベンチ・スツール
- 井 防災井戸：非常用水となる井戸
- 他 その他の防災施設：応急給水施設、土のうステーションなど



千代田区



出典：国土数値情報及び基盤地図情報(国土地理院)各種データを加工
東京都通称道路名地図(東京都建設局)

区内の復興小公園は7か所全てが現在も供用し、その数は区立公園の3割を占めている。

ほとんどの復興小公園において改修や老朽化施設の更新を重ねてきており、開設当初の施設や意匠は残されていないが、東郷元帥記念公園※に隣接する九段小学校では、公園側のファサード(外壁)が保存活用されており、当初の雰囲気が感じられる空間に整備されている。

現在の復興小公園では、流れや「こどもの池」等の親水施設が整備されているほか、震災対策用応急給水施設や防災井戸等の防災施設が整備されるなど、防災機能が拡充されている。

芳林公園では、こどもが安全に安心して遊べる環境を提供するため、平日の午前中は門扉を施錠し、昌平小学校や近隣幼稚園・保育園と一般のこども連れ(保護者・付添者等を含む)の方の専用時間として運用されている。

錦華公園は、2023年8月現在、改修整備が行われており、開設当初から引き継がれてきた東側斜面部の「自然風庭園」を保全・改善して次世代に継承することを基本方針の一つとしている。

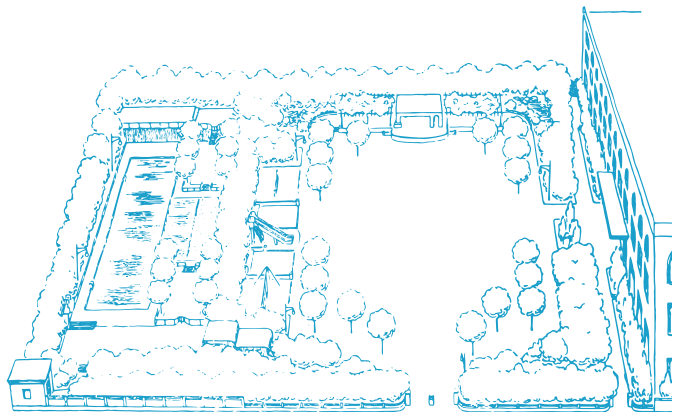
※1938年に「上六公園」の北側の東郷邸が併合されて「東郷元帥記念公園」に名称変更された。



1 東郷元帥記念公園 (旧 上六公園)

隣接する九段小学校は近代化産業遺産に指定され、歴史性・公園との一体性が保全されている。園内には震災対策用応急給水施設が設置されている。2023年8月現在、改修工事中であり、2023年4月から小学校前の広場の利用を開始している。

● 7,119 m² ● 1929 年開設
● 三番町 18



開設当初の公園鳥瞰図(上六公園)
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成



九段小学校ファサード



2 西神田公園 (旧 西小川公園)

高木植栽の周囲に流れが造られている。レンガ積の植栽枠に開設当初の意匠が感じられる。

● 2,084 m² ● 1930 年開設 ● 西神田 2-3-11



3 錦華公園

2023年8月現在、隣接するお茶の水小学校と併せて改修工事中。児童用と幼児用の複合遊具や親水施設、日陰棚等の施設を設置する計画となっている。

● 2,759 m² ● 1929 年開設 ● 猿楽町 1-1-2



4 淡路公園

市街地再開発事業により刷新され、サクラやカエデなどの樹木と林間小路、流れ、芝生広場により、都会のオアシスのような憩いの空間となっている。

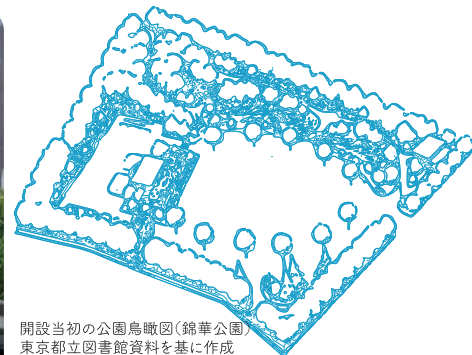
● 3,000 m² ● 1930 年開設 ● 神田淡路町 2-27



5 神田児童公園 (旧 神田公園)

「こどもの池」のある公園。こどもの池にはシャワー設備があり小さなこどもが安心して遊べる。トンネル型の遊具や流れがある。

● 2,179 m² ● 1931 年開設 ● 神田司町 2-2



開設当初の公園鳥瞰図(錦華公園)
東京都立図書館資料を基に作成



7 芳林公園

隣接する昌平小学校との間に区道が介在する。広場を主体に複合遊具とこどもの池が設置されている。

● 1,954 m² ● 1930 年開設 ● 外神田 3-5-18



小学校との位置関係 Ⅰ 校庭に隣接 Ⅱ 校舎に隣接 Ⅲ 道路が介在 Ⅳ その他

公園内の施設 Ⅰ 遊具 Ⅱ 健康遊具 Ⅲ 休憩舎 Ⅳ トイレ Ⅴ 広場

Ⅵ スポーツ場 Ⅶ 泉 Ⅷ 壁泉 Ⅸ 池 Ⅹ 流れ・噴水 Ⅺ じゃぶじゃぶ池 Ⅻ ミスト

Ⅼ ビオトープ Ⅽ モニュメント・オブジェ Ⅾ 防災トイレ Ⅿ かまどベンチ等

ⅰ 井 ⅱ 防災井戸 ⅲ 照 ⅴ ソーラー照明灯 ⅵ 他 ⅶ その他の防災施設

中央区



出典：国土数値情報及び基礎地図情報
(国土地理院)各種データを加工
東京都通称道路名地図(東京都建設局)

区内では、震災復興事業により復興大公園 1 か所(浜町公園)、復興小公園 11 か所が設置されたが、築地公園は隣接小学校の校地拡張により1977 年に廃止されて、現在は 10 か所の復興小公園が供用している。

ほとんどの復興小公園において改修や老朽化施設の更新を重ねている。京橋公園には、開設当初の人造石研ぎ出し仕上げの二連すべり台の解説板が残されている。また、蛸殻町公園のある場所は、江戸時代、松平三河守の下屋敷があったところで、その後京都出身の豪商杉村甚兵衛氏の屋敷となり、関東大震災時には近所の人達とその広い庭園内に難を逃れて助かったとの逸話が伝わっている。

区内の復興小公園では多くの公園にじゃぶじゃぶ池や噴水等の親水施設が整備されているほか、十思公園の牢屋敷の遺構展示や吉田松陰の石碑、越前堀児童公園の石垣展示等を通じて江戸の歴史に触れることができる。また、越前堀児童公園や月島第一児童公園ではキャッチボール場が設置されて地域ニーズに応じた改修が行われている。さらに近年では、月島第二児童公園で「太陽のマルシェ」が開催されるなど新しい公園利用が始まっている。

各復興小公園では、かまどベンチやソーラー照明灯、防災井戸等が設置されて防災機能の拡充が図られている。



1 越前堀児童公園 (旧 越前堀公園)

広場を中心にじゃぶじゃぶ池、キャッチボール場、遊具、かまどベンチが配置されている。近年設置されたすべり台は、開設当初のすべり台と同様の人造石研ぎ出し仕上げの工法が用いられている。

● 3,060 m² ● 1930 年開設 ● 新川 1-12-1



3 常盤公園

小学校の屋外プールの設置や上越・東北新幹線整備のため、公園敷地が小さくなったが、トイレやベンチにより地域の休憩スポットとなっている。

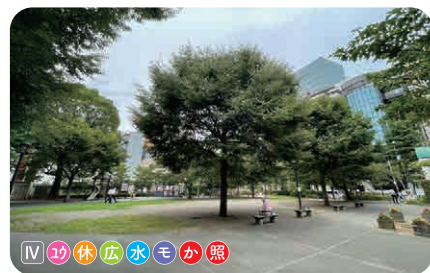
● 1,420 m² ● 1931 年開設 ● 日本橋本石町 4-4-3



4 久松児童公園 (旧 久松公園)

河川覆蓋に伴う敷地拡張により久松小学校校庭と一体化し、拡張部分は遊具やじゃぶじゃぶ池がある。警察署が隣接し、校庭は一般開放されて多くの子どもたちで賑わう。

● 3,618 m² ● 1930 年開設 ● 日本橋富沢町 16-6



5 箱崎公園

広場を中心にサクラ、クスノキなどの緑陰と遊具、噴水、かまどベンチがある。隣接する小学校跡地は、東京舞台芸術活動支援センター(水天宮ビクト)に用途が変わっている。

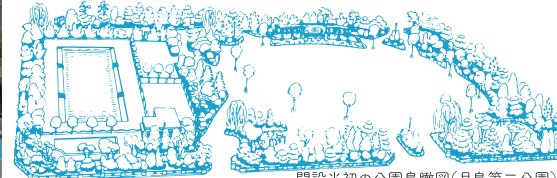
● 2,436 m² ● 1929 年開設 ● 日本橋箱崎町 18-18



9 月島第二児童公園 (旧 月島第二公園)

市街地再開発事業により大きく変貌し、遊具が充実して、こども連れで賑わう。じゃぶじゃぶ池、平和のモニュメント、かまどベンチが配置されている。定期的で開催される「太陽のマルシェ」では、産地直送の野菜等が販売され、地域交流の場となっている。

● 5,189 m² ● 1926 年開設 ● 勝どき 1-9-8



開設当初の公園鳥瞰図(月島第二公園)
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成



6 鉄砲洲児童公園 (旧 鉄砲洲公園)

中央に広場を配し、遊戯広場、じゃぶじゃぶ池、噴水、かまどベンチがある。隣接の中央小学校との間に介する区道は歩行者専用として公園との一体化が図られている。

● 2,964 m² ● 1930 年開設 ● 湊 1-5-1



10 月島第一児童公園 (旧 月島第一公園)

広場にはケヤキやサクラを配し、周囲に遊具を幼児用と児童用に分けて配置している。キャッチボール場、かまどベンチが配置されている。隣接小学校は区民センターに代わっている。

● 3,769 m² ● 1927 年開設 ● 月島 4-2-1



2 十思公園

「石町時の鐘」や牢屋敷の遺構、吉田松陰終焉の石碑があり、江戸の歴史に触れられる。園内は樹木による緑陰が形成され、遊具、かまどベンチがある。隣接小学校のグラウンド跡地には十思スクエア別館がある。

● 2,084 m² ● 1930 年開設 ● 日本橋小伝馬町 5-2



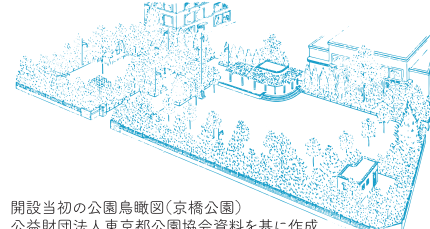
建設当初の鐘楼(十思公園)
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成



7 京橋公園

日陰棚やサルスベリ、サクラ、プラタナスなどの緑陰の憩いの場と遊具のある広場、かまどベンチがある。小学校跡地は区営の複合高層住宅に利用されている。

● 2,194 m² ● 1930 年開設 ● 銀座 1-25-2



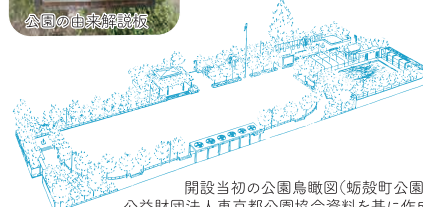
開設当初の公園鳥瞰図(京橋公園)
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成



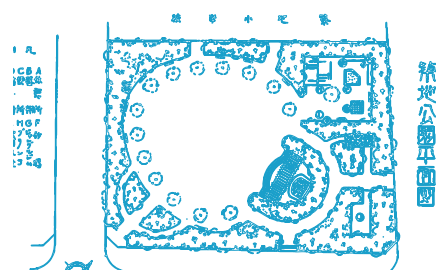
8 蛸殻町公園

隣接小学校の校舎建替時に、公園に校舎を建て校地部分を公園として一体化し、公園の広場と校庭を兼用している。遊戯広場やかまどベンチ、公園の由来解説板が設置されている。接道部は大規模住宅に伝えられる意匠が施されている。

● 5,903 m² ● 1931 年開設 ● 日本橋蛸殻町 2-10-6



開設当初の公園鳥瞰図(蛸殻町公園)
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成

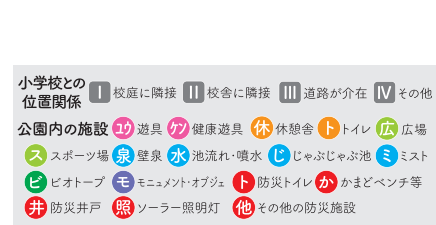


開設当初の公園平面図(築地公園)
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成

11 築地公園

隣接する築地小学校の校舎新築のため、1977 年に廃止された。現在は学校統廃合により校地も無くなっている。

● 2,906 m² ● 1930 年開設 ● 築地 3 丁目地内



小学校との位置関係 Ⅰ 校庭に隣接 Ⅱ 校舎に隣接 Ⅲ 道路が介在 Ⅳ その他
公園内の施設 Ⅴ 健康遊具 Ⅵ 健康遊具 Ⅶ 休憩舎 Ⅷ トイレ Ⅸ 広場
Ⅹ スポーツ場 Ⅺ 健康遊具 Ⅻ 健康遊具 Ⅼ 健康遊具 Ⅽ 健康遊具 Ⅾ 健康遊具
Ⅿ ビオトープ ⅰ モニュメントオブジェ ⅱ 防災トイレ ⅲ かまどベンチ等
ⅳ 防災井戸 ⅴ ソーラー照明灯 ⅵ その他の防災施設

港区



区内の復興小公園は、桜田公園、南桜公園ともに現在も供用しており、いずれの公園も隣接する小学校は統廃合によりその役割を終えている。

桜田公園に隣接する桜田小学校は生涯学習センターに用途が変更され、桜田公園とともに地域住民が憩い学ぶ場として、復興小公園の特色を引き継いでいる。一方の南桜公園は、桜小学校の廃校に伴い校地を利用して公園が拡張されており、これは復興小公園の中で唯一の事例となっている。

南桜公園の拡張に伴い、広場機能の強化とともに、かまどスツールや仮設トイレ(スツール型・マンホール型)、防災井戸、非常用土のうなどの防災施設の充実を図り、またサクラを広場周囲に配し、サクラの名所として地域に親しまれている。

廃校となった桜小学校の二宮尊徳像や石碑、石段等は公園各所に移設して残されている。



① 南桜公園

隣接する桜小学校の廃校に伴い、校地を利用して公園が拡張された。校庭の樹木を残し、二宮尊徳像や石碑、石段等を移設している。サクラの名所として地域に親しまれ、遊具のほか、かまどや仮設トイレとなるスツールや防災井戸等の防災施設が設置されている。

● 5,219 m² ● 1929 年開設 ● 西新橋 2-10-13



② 桜田公園

隣接する桜田小学校の廃校に伴い、校庭が公園と一体化された。遊具コーナーとトラックフィールドから構成され、平日は近隣就業者の憩いの場として賑わっている。緊急用土のうが備わっている。

● 2,671 m² ● 1931 年開設 ● 新橋 3-16-15

文京区



区内の復興小公園は、新花公園、元町公園ともに現在も供用している。

新花公園は近年に改修を済ませ、人造石研ぎ出し仕上げの大型のすべり台が新しく設置されてこどもたちの人気となっている。また、隣接する湯島小学校の児童による花壇愛護活動によりチューリップのある公園として地域に親しまれている。

元町公園は、開設当初の意匠の保全・復原に配慮した改修により、現在でも当初の姿を伝える復興小公園として区内外に知られており、壁泉やカスケード、二連すべり台等の当初の公園施設が現在も残っている。

元町小学校は 1998 年3月末日の閉校後、現在まで校舎が他用途に活用されてきたが、旧元町小学校と元町公園の一体的な屋外空間を生かした賑わいの創出と、地域コミュニティの活性化、防災機能の強化を図るため、敷地を活用した官民連携事業と旧元町小学校の建物の一部の保全整備を目的とした事業が進んでおり、現在、元町公園と合わせて改修工事中である。



① 新花公園

隣接する湯島小学校の拡張に伴い、小学校と公園の用地を交換し、現在的位置に新たに公園を開園した。地域に「くじら公園」との愛称で親しまれ、くじらをモチーフにした大きなすべり台がある。

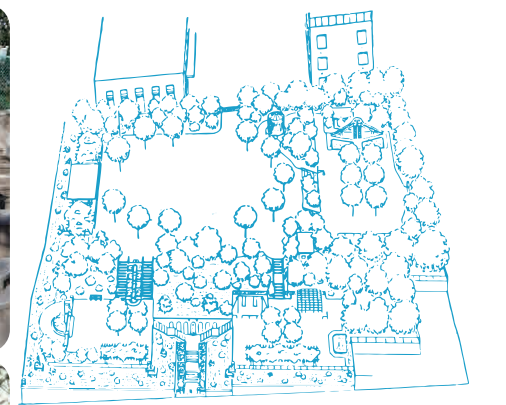
● 1,037 m² ● 1926 年開設 ● 湯島 2-31



② 元町公園

1982 ～ 84 年にかけて保全・復元的な改修工事が行われ、開設当初の施設である、壁泉やカスケード、鳥のオブジェなどが残っている。2023 年8月現在、元町公園は改修工事中であるが、歴史性の継承に配慮しつつ、憩いの場となるような整備を行うとともに、隣接する旧元町小学校敷地との一体的な活用を図る計画となっている。また、防災機能確保のため、防災トイレや防災資材を収納できるベンチなどの設置が予定されている。

● 3,520 m² ● 1930 年開設 ● 本郷 1-1



小学校との位置関係 Ⅰ 校庭に隣接 Ⅱ 校舎に隣接 Ⅲ 道路が介在 Ⅳ その他
公園内の施設 休 健康遊具 休 休憩舎 トイレ 広 広場
ス スポーツ場 泉 壁泉 池 池流れ・噴水 じゃぶじゃぶ池 ミ ミスト
ビ ビオトープ モ モニメント・オブジェ ト 防災トイレ か かまどベンチ等
井 防災井戸 照 ソーラー照明灯 他 その他の防災施設



台東区



出典：国土数値情報及び基盤地図情報
(国土地理院)各種データを加工
東京都通称道路名地図(東京都建設局)



1 東盛公園
東泉小学校に隣接する。大きな広場、フェンスで囲まれた遊び場、スポーツコーナーがある。
● 3,777 m² ● 1928 年開設 ● 三ノ輪 1-23-2



3 西町公園
永寿総合病院に隣接する。大きな樹木が多く、ミカンやカキなどの果樹が植えられている。かつて隣接した旧西町小学校の碑が残っている。
● 2,936 m² ● 1930 年開設 ● 東上野 2-23-3



4 田原公園
田原小学校に隣接する。イチヨウやタイサンボクが植えられている。
● 1,798 m² ● 1931 年開設 ● 雷門 1-5-15



5 柳北公園
柳北スポーツプラザに隣接する。複合遊具や広場がある。大きなスズカケノキが多く植えられている。
● 2,982 m² ● 1926 年開設 ● 浅草橋 5-1-35



6 玉姫公園
福祉プラザ台東清峰会に隣接する。大きなスポーツコーナーがある。
● 3,504 m² ● 1930 年開設 ● 清川 2-13-18

小学校との位置関係
I 校庭に隣接 II 校舎に隣接 III 道路が介在 IV その他

公園内の施設
1 遊具 2 健康遊具 3 休憩舎 4 トイレ 5 広場
6 スポーツ場 7 壁泉 8 池流れ・噴水 9 じゃぶじゃぶ池 10 ミスト
11 ビオトープ 12 モニタリングオブジェ 13 防災トイレ 14 かまどベンチ等
15 井 16 防災井戸 17 ソーラー照明灯 18 その他防災施設

区内では、震災復興事業により復興大公園 1 か所(隅田公園)、復興小公園 15 か所が設置され、現在も供用している。復興小公園の数は他区と比べて最も多く、その数は区内の区立公園の約 3 割を占めている。

全ての復興小公園において、改修や老朽化した施設の更新を重ねてきており、ほとんどの公園で開設当初の施設や意匠を見ることはできないが、広場を中心として周囲に日陰棚や遊具コーナー、植栽を配する基本的な施設配置は多くの公園で共通して継承されている。特に、広場の緑陰形成を図る高木は、十分な植栽間隔を保ち、ケヤキやプラタナスなどは美しい樹形を有し、快適な緑陰空間を形成している公園が多い。東盛公園や田原公園等は、隣接する校庭との一体利用が考慮されている。さらに、小島公園では隣接する旧小島小学校(現：台東デザイナーズビレッジ)の校舎の意匠と調和する水盤が設けられた特色のある空間が形成されている。かつては噴水として利用されていたが、現在は花壇になっている。

改修においては、住民との話し合いのもと、防災トイレやかまどベンチ、防災井戸等の設置による防災機能の強化を図っている。また、精華公園でのビオトープの設置やトイレの屋根の緑化による生物多様性への配慮、暑熱対策としてミスト遊具の設置(御徒町公園、山伏公園)、ボール遊びができるスポーツコーナーの設置(東盛公園、玉姫公園、山伏公園、金杉公園)等、新たなニーズへの対応に取り組んでいる。



7 松葉公園
松葉小学校に隣接する。大きな複合遊具や広場がある。和風な植込地には竹林がある。
● 2,972 m² ● 1931 年開設 ● 松が谷 1-12-6



8 千束公園
千束小学校に隣接する。複合遊具や広場がある。大きなイチヨウが植えられている。
● 2,221 m² ● 1930 年開設 ● 浅草 4-24-7



9 石浜公園
石浜小学校に隣接する。日時計、石の浜をかたどった砂場、平賀源内のエレキテルをモチーフにしたトイレがある。
● 2,972 m² ● 1930 年開設 ● 清川 1-14-21



10 山伏公園
駒形中学校に隣接する。複合遊具、ミスト遊具、スポーツコーナーがある。南西側出入口にあるウメがきれいに咲く。
● 1,461 m² ● 1931 年開設 ● 北上野 2-9-7



11 富士公園
富士小学校に隣接する。富士山の形をしたトイレがある。大きなケヤキが植えられている。
● 2,406 m² ● 1931 年開設 ● 浅草 4-47-2



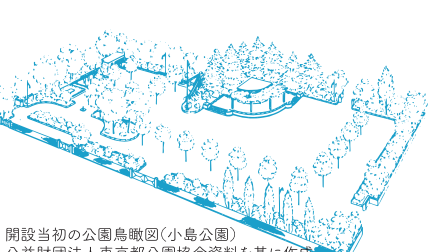
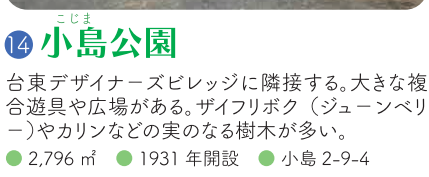
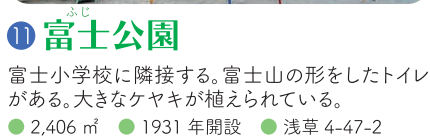
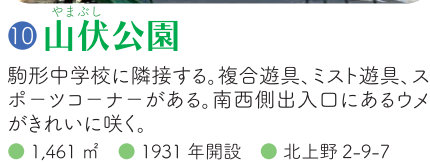
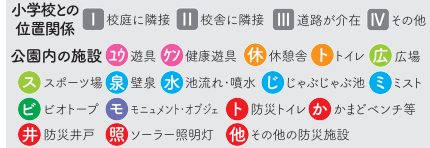
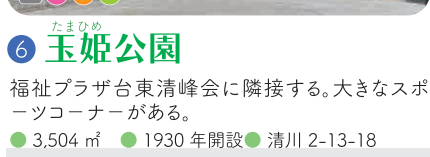
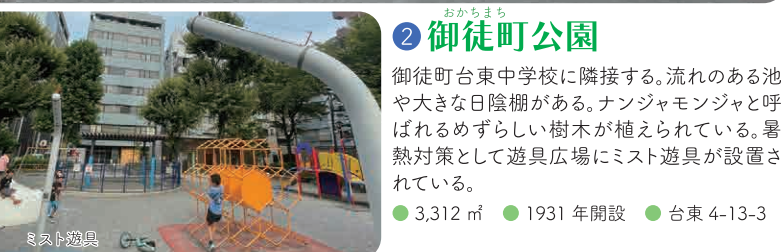
12 精華公園
蔵前小学校に隣接する。自然観察のできるビオトープや大きな砂場がある。
● 2,888 m² ● 1930 年開設 ● 蔵前 4-15-9



13 金杉公園 (旧 入谷公園)
柏葉中学校に隣接する。クジラや機関車等のオリジナル遊具が多く、スポーツコーナーやクライミングウォールもある。
● 1,679 m² ● 1931 年開設 ● 下谷 3-5-12



15 金竜公園
生涯学習センターに隣接する。複合遊具や半円形の日陰棚がある。メタセコイヤが植えられている。
● 2,645 m² ● 1931 年開設 ● 西浅草 3-25-7



墨田区



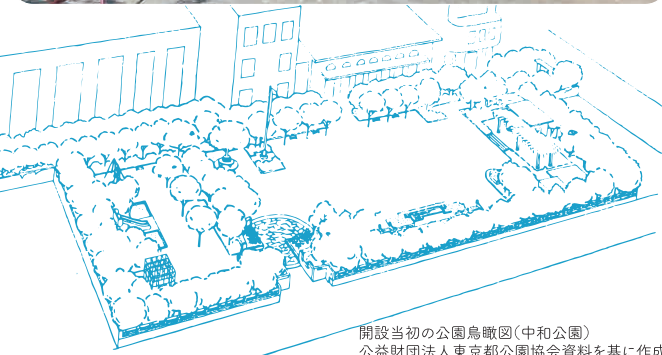
出典：国土数値情報及び基礎地図情報
(国土地理院)各種データを加工
東京都通称道路名地図(東京都建設局)



① 中和公園

隣接する中和小学校校庭とはカーテンフェンスで仕切れ、一体利用が可能
な造りとなっている。広場にはサクラが植えられ、遊具コーナーは充実し、コン
クリート製の大型すべり台がこどもたちの人気を集めている。

● 2,976 m² ● 1929 年開設 ● 菊川 1-18-25



開設当初の公園鳥瞰図(中和公園)
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成

区内では、震災復興事業により復興大公園2か所(錦糸公園、隅田公園)、復興小公園8か所が設置されたが、茅場公園が戦災復興区画整理事業により消失し、永倉公園が隣接する
竪川中学校の拡張により1971年に廃止されて、現在、6か所の復興小公園が供用している。

全ての復興小公園において改修や老朽化施設の更新を重ねてきており、ほとんどの公園で開設当初の施設や意匠を見ることができないものの、広場を中心に周囲に遊具や植栽を配する施設配置の基本的な考えを見ることができる。中和公園や業平公園、若宮公園では、広場の緑陰形成を図る高木が十分な植栽間隔を保ち、ケヤキやプラタナスなどの美しい樹形が表れ、快適な緑陰空間を形成している。また中和公園と菊川公園は、隣接する校庭との一体利用を考慮してカーテンフェンスで仕切られている。

「江東公園」は「えひがし」と読まれずに「こうとう」と間違われやすいため、地元等から改称の嘆願がなされたことなどの理由から「両国公園」に名称を変更し、公園の場所が勝海舟の生誕地であったことから、石碑や銅像等を修景改修し、訪れた利用者に地域ゆかりの歴史・文化を伝承していく場所として整備している。また、業平公園では GTS 観光アートプロジェクトによるオブジェを設置し、王貞治氏のゆかりの公園として解説板を設置するなど、公園の魅力向上と周辺地域の回遊性向上を図る取組を行っている。

近年の改修では、防災トイレや土のうステーション(菊川公園等)の設置による防災機能の強化や、ボール遊び広場の設置等、新たな区民ニーズへの対応に取り組んでいる。



② 業平公園

広場を中心に周囲に遊具が幼児用と児童用に分けて配置されている。ボール遊び広場、GTS 観光アートプロジェクトの木の葉のオブジェが設置されている。隣接する業平小学校に通学していた王貞治氏が三角ベースをしていたとされる。

● 3,339 m² ● 1930 年開設 ● 業平 2-3-2



③ 横川公園

東西に細長い形状で、隣接する横川小学校とはフェンス柵と門扉で仕切られている。砂場やブランコ、すべり台、鉄棒がある。ラジオ体操が盛んで全国表彰記念碑がある。土のうステーションがある。

● 2,850 m² ● 1931 年開設 ● 東駒形 4-18-21



④ 両国公園 (旧 江東公園)

広場を中心にコンクリート製の大きなすべり台、ブランコなどの遊具、ケヤキやイチョウ、サクラによる緑陰があり、近年に勝海舟についてより深く楽しめる歴史文化公園として改修されている。応急給水槽がある。

● 2,969 m² ● 1929 年開設 ● 両国 4-25-3



⑤ 菊川公園

複合遊具やブランコ、砂場、日陰棚がある。隣接する菊川小学校とは、カーテンフェンスで仕切れ、校庭と広場との一体利用が可能な造りとなっている。

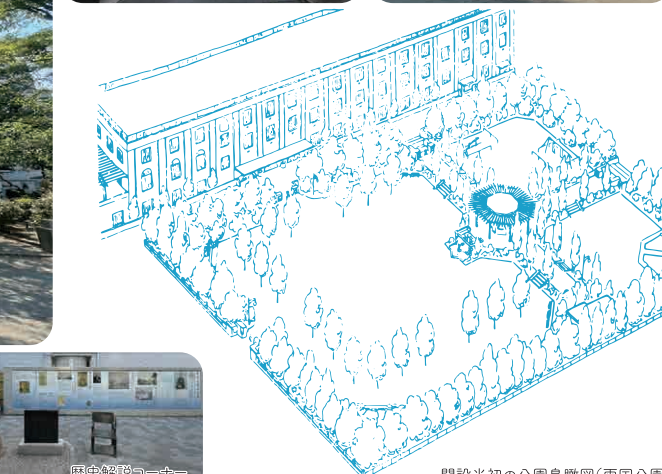
● 2,975 m² ● 1930 年開設 ● 立川 4-12-21



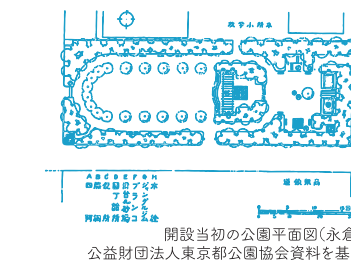
⑥ 若宮公園

広場を中心に周囲に遊具と健康遊具を分けて配置している。適度に高木を配植し、広場と遊具の間を日陰棚で仕切るなど、緑陰を形成して憩いの場としての利用に配慮している。隣接する外手小学校とは区道を介している。

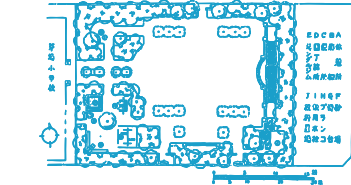
● 4,594 m² ● 1931 年開設 ● 本所 2-2-19



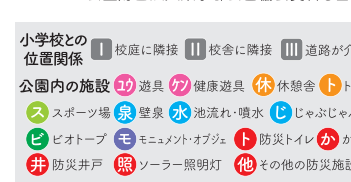
開設当初の公園鳥瞰図(両国公園)
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成



開設当初の公園鳥瞰図(永倉公園)
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成



開設当初の公園鳥瞰図(茅場公園)
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成



開設当初の公園鳥瞰図(茅場公園)
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成

小学校との位置関係 Ⅰ 校庭に隣接 Ⅱ 校舎に隣接 Ⅲ 道路が介在 Ⅳ その他
公園内の施設 Ⅴ 遊具 Ⅵ 健康遊具 Ⅶ 休憩舎 Ⅷ トイレ Ⅷ 広場
Ⅸ スポーツ場 Ⅹ 健康 Ⅺ 池流れ・噴水 Ⅻ じゃぶじゃぶ池 Ⅼ ミスト
Ⅽ ビオトープ Ⅾ モニタリングオブジェ Ⅿ 防災トイレ ⅰ かまどベンチ等
ⅱ 防災井戸 ⅲ ソーラー照明灯 ⅳ その他の防災施設

⑦ 永倉公園

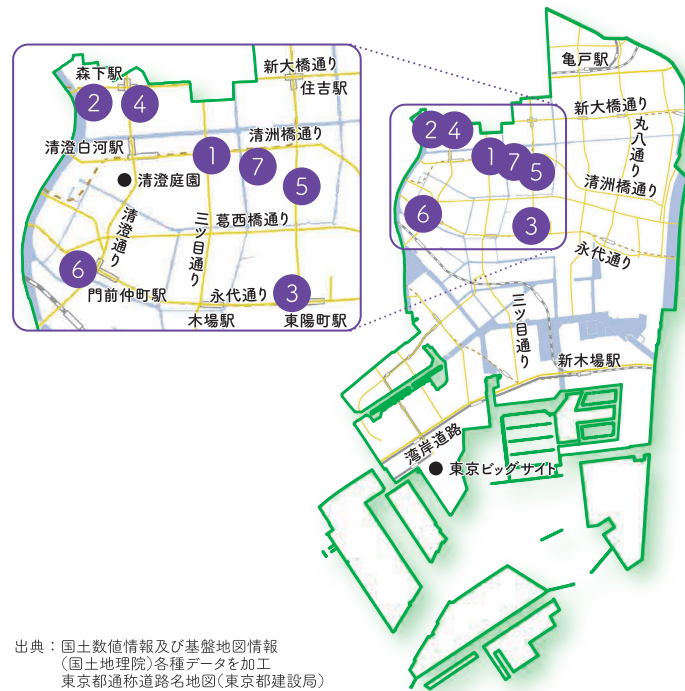
隣接小学校が竪川中学校に変わり、その後の校地拡大のため、1971年に廃止された。

● 2,973 m² ● 1930 年開設
● 亀沢 4-11-2

⑧ 茅場公園

1948年に事業決定した戦災復興区画整理事業に伴い廃止された。

● 2,984 m² ● 1931 年開設
● 江東橋 3-8



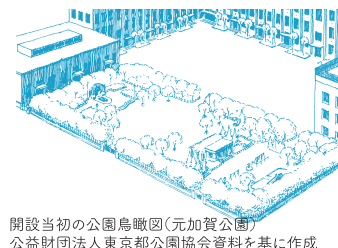
出典：国土数値情報及び基盤地図情報
(国土地理院)各種データを加工
東京都通称道路名地図(東京都建設局)



1 元加賀公園

中央に日陰棚・休憩舎、東側に遊戯広場、西側に広場を配するゾーニングは、開設当初と大きく変わらずに現在に至っている。広場の西端部には開設当初からの壁泉が残っている。隣接する元加賀小学校の校庭とは門扉を介して結ばれている。

● 2,975 m² ● 1927 年開設 ● 白河 4-3-27



開設当初の公園鳥瞰図(元加賀公園)
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成



壁泉

区内の復興小公園は7か所全てが現在も供用している。

ほとんどの復興小公園において改修や老朽化施設の更新を重ねてきているが、広場を中心に周囲に日陰棚と遊具コーナーを分けるゾーニングと周囲に植栽を配する基本的な施設配置は多くの公園で共通して継承されている。

特に、元加賀公園は開設当初のゾーニングが保たれており、また開設当初の壁泉が現存している。川南公園では、開設当時につくられたと思われるコンクリート製の二連すべり台が現存しており、この種のすべり台が現存しているのは元町公園と本園の2基であるが、本園のものは、2つのレリーフが施されており、デザイン性が高い施設となっている。

広場の周囲の高木は十分な植栽間隔を保ち、ケヤキなどの美しい樹形が表れ、日陰棚と合わせて快適な緑陰空間を形成している公園が多い。また、八名川公園と森下公園では、在来種を材料にした植栽による生物多様性に配慮した緑化が行われている。また、多くの公園では、隣接する校庭との一体利用が考慮されている。

近年の改修では、かまどベンチ・スツールの設置のほか、関東大震災と復興小公園の歴史解説板の設置が進められており、震災の教訓を伝える場としての防災機能の充実に図られている。



2 八名川公園

日陰棚、複合遊具があり、イチョウやケヤキなどの大木が緑陰を形成している。隣接する八名川小学校とは門扉を介して結ばれ、学校の休み時間には児童が公園で遊んで賑わいを見せられている。

● 2,973 m² ● 1930 年開設 ● 新大橋 3-1-18



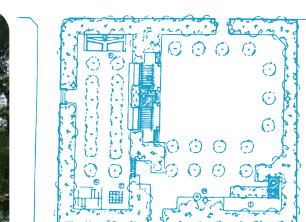
かまどベンチ



3 東陽公園

中央にあるコンクリート製の大型すべり台が特徴的で多くのこどもで賑わう。花壇の花々が豊富で色とりどりの花が利用者を楽しませている。隣接する東陽小学校とは門扉を介して結ばれている。

● 3,039 m² ● 1927 年開設 ● 東陽 3-27-27



開設当初の公園平面図(森下公園)
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成



4 森下公園

中央に日陰棚、東側に広場、西側に遊戯広場を配するゾーニングと公園の出入口の位置は、開設当初と大きく変わらずに現在に至っている。近年の改修により、遊戯広場にタコをモチーフにしたすべり台がある。

● 2,976 m² ● 1930 年開設 ● 森下 2-5-16



すべり台



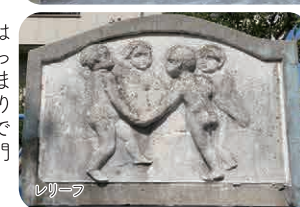
5 川南公園

イチョウやケヤキの大木が外周に植わり、園内は広場と遊戯広場に分かれ、その部分にかつてあった日陰棚の床部分が暗示的に残されている。また、開設当時につくられたと思われる二連すべり台は、2つのレリーフが施された特色のあるもので他では見られない。隣接する川南小学校とは門扉を介して結ばれている。

● 2,975 m² ● 1931 年開設 ● 千石 2-9-22



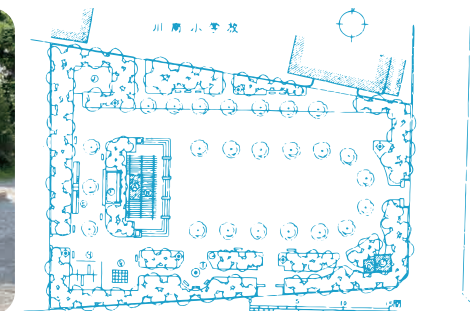
すべり台



レリーフ



レリーフ



開設当初の公園平面図(川南公園)
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成

小学校との位置関係 Ⅰ 校庭に隣接 Ⅱ 校舎に隣接 Ⅲ 道路が介在 Ⅳ その他
公園内の施設 Ⅰ 遊具 Ⅱ 健康遊具 Ⅲ 休憩舎 Ⅳ トイレ Ⅴ 広場
Ⅵ スポーツ場 Ⅶ 壁泉 Ⅷ 池流れ・噴水 Ⅷ ジャブジャブ池 Ⅸ ミニ
Ⅹ ビオトープ Ⅺ モニュメント・オブジェ Ⅻ 防災トイレ Ⅼ かまどベンチ等
Ⅽ 防災井戸 Ⅾ ソーラー照明灯 Ⅿ その他の防災施設



6 臨海公園

イチョウ、ミカン類の大木があり、築山による高低差を活かしたアスレチック系の遊具が特色。隣接する臨海小学校の校庭とはフェンスにより仕切られるが、校庭開放により相互利用が図られている。

● 2,643 m² ● 1930 年開設 ● 門前仲町 1-1-1



かまどベンチ



7 扇橋公園

中央にコンクリート製の大型すべり台がある。幼児用のすべり台、砂場、日陰棚が設置されている。隣接する扇橋小学校とは門扉を介して結ばれており、小学校と公園の相互利用が図られている。

● 2,975 m² ● 1930 年開設 ● 石島 18-23



門扉とすべり台

令和5年8月発行 登録番号(5)43

編集 東京都都市整備局総務部企画技術課
新宿区西新宿二丁目8番1号
東京都庁第二本庁舎 12 階南側
電話 03(5388)3268

発行 東京都都市整備局市街地整備部企画課
新宿区西新宿二丁目8番1号
東京都庁第二本庁舎 11 階北側
電話 03(5320)5121

編集協力 千代田区環境まちづくり部
中央区環境土木部
港区街づくり支援部
文京区土木部
台東区都市づくり部
墨田区都市整備部
江東区土木部



東京都都市整備局
復興小公園の再生ページ